

Faculty 教員紹介

法の学びは、人間と社会を学ぶこと。決して堅苦しい話だけではありません。
教員も懐深い方々ばかりです。ここでは、そんな法学部の奥深い教員と授業の一部をご紹介します。



» 中央大学法学部教員紹介Webサイト

<https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/law/teacher/>



■ 短期海外プログラム (ILOリサーチプログラム)
文献調査や講義を通してILOの理念や活動、国際労働基準について学び、ILOの専門家に直接アドバイスを頂きながら、自らの設定した途上国の労働問題に関するテーマについて研究・分析します。

国際的、国内的平面で考える視座が涵養されます
国際機関の専門家などにインタビューし、各自一つの国際労働問題について1年間研究する授業です。

遠藤 瑞季 国際企業関係法学科3年／暁中学高等学校(三重県)出身



富田 真紀
Tomita Maki
教授
国際教育開発



小室 夕里
Komuro Yuri
教授
英語学・辞書学

■ 外書講読
法学に関する英語の文献を読み解くための基礎力を養う授業です。それぞれの解釈を持ち寄って議論します。



英語で専門科目を学ぶ基礎を築く
各自の探求心が重視されるこの科目では英語力はもちろん、法律に関する発見や社会問題について考えるきっかけを得られました。

近藤 勇 法律学科2年／県立千葉高等学校(千葉県)出身



森 光
Mori Hikaru
教授
ローマ法

■ ローマ法
法学は古代ローマに発祥しました。この講義では、原点に立ち返り、法学とは何かを考えていきます。

ローマ法の昔から人間の本質は同じ
既製品を食べなれた私が日本法と遠い時空の法を比較して出会ったのは社会を法に昇華する現象でした。

井上 茜琳 法律学科4年／私立関東学院高校(神奈川県)出身



高橋 徹
Takahashi Toru
教授
メディアコミュニケーション論



ニックス
マイケル
Nix Michael
教授
カルチャラルスタディーズ、
アカデミック・リテラー

■ 短期海外プログラム (シドニー・アクティブ・ラーニング・プログラム)
さまざまな現場にいる多様な人々の声を聴き、多文化社会を作り上げていくために自分はどこに立ちどのような役割を担えるのか、ともに考えていきましょう。



■ メディアコミュニケーション論
現代の政治や世論形成を、メディア報道やネット上のコミュニケーションの動きに着目して理解するための授業です。

身近な問題を改めて考えられる良い機会でした
マスメディア、インターネットを用いた政治問題など、自分の身にある問題に改めて向き合って広い視点から物事を見られるようになりました。

栗飯原 未知 政治学科3年／私立江戸川女子高等学校(東京都)出身



谷 みゆき
Tani Miyuki
准教授
言語学・英語学

■ 英語1・5 Reading

言語にまつわる諸問題について専門家が書いた文章を使用し、英語の読解力と効果的な発信力を養うことを目的とした授業です。

英語を読む力を鍛えるだけではありません
文献を批判的に考察する力、考察の内容を発信する力がつきました。

石川 順大 法律学科2年／横浜市立南高等学校(神奈川県)出身



浦谷 郁子
Uratani Ikuo
助教
スポーツ哲学・倫理学

■ 基礎演習

スポーツと法の関わりはどこに潜んでいるのか。疑問を持ち、読解、まとめる力を根気強く、丁寧に自ら学ぶクラスです。

自ら知識を深めることができました
スポーツと栄養に関する知識を競技生活に応用できるようになりました。

藤原 寛人 法律学科2年／東海大学附属浦安高等学校(千葉県)出身

